

ラリードライバー増岡浩、文部科学大臣からスポーツ功労者顕彰を受 彰

～2002 年、2003 年に三菱自動車『パジェロ』で日本人初のダカールラリー2 連
覇を達成～

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）は、当社に所属するラリードライバー増岡 浩が、文部科学大臣からスポーツ功労者顕彰を 29 日に受彰したことを発表しました。同顕彰は、日本におけるスポーツ（プロスポーツ分野）の振興に関わり、特に顕著な功績を残した選手や指導者等に対し授与されるものです。



（左から）室伏 広治 スポーツ庁長官、増岡 浩 三菱自動車工業株式会社 理事

増岡は、世界一過酷なラリーといわれるダカールラリーに三菱自動車『パジェロ』などで参戦し、2002 年、2003 年に日本人初の 2 連覇を飾るなど、ラリードライバーとして優れた成果を挙げました。また、モータースポーツ活動で得たノウハウを電動車の開発に活かすとともに、三菱自動車が主催する「SUV 4WD 体験試乗会」や「クルマの学校」などを通じ、安全運転についての啓蒙活動を行うなど社会貢献活動にも積極的に取り組んだことも含めて評価され、この度表彰されました。現在はチーム三菱ラリーアート総監督として「アジアクロスカントリーラリー」に参戦し、2022 年は初参戦でチームを総合優勝に導いています。

受彰に当たり、増岡は下記の通りコメントしました。

「幼少の頃より自動車に興味を持ち、運転免許を取得した頃には、モータースポーツに憧れを抱いて、我流でひたすら練習して走り続けていました。世界一過酷なラリーといわれるダカールラリーに 21 回挑戦し、2002 年、2003 年には、悲願の総合優勝を成し遂げることができました。選手から監督まで 40 年あまり、私を支えて下さった三菱自動車、ラリーアート、そして関係者の皆さまに感謝申し上げます。ラリー活動での経験を活かし、環境対応や交通安全など社会貢献にも邁進していく所存です」

以 上